

令和7年度知事定例記者会見[抜粋]

令和7年8月8日 知事定例記者会見[抜粋]

○毎日新聞

おはようございます。新幹線で現状の課題でお伺いします。

来週ですかね、長崎の知事さんとか JR の社長さんをお呼びして、県庁でお話合いがあるということをお伺いしました。改めて、今の時期になったいきさつ、あるいは狙いなどについてお話しいただければと思います。

それと関連して、以前から北陸新幹線のことを参考におっしゃっています。先日、先月ですかね、大阪は早期開業を見送ったというようなニュースもありました。北陸新幹線を参考にということで何かお話いただけるようなことがあればと思います。よろしくお願いします。

○知事

ありがとうございます。

そうですね、まず佐賀県はもともとフリーゲージトレインで合意をしてというところは皆さんもご案内のとおりだと思います。もともとフル規格の新幹線というものはまだ合意が何みなされていない状況だという前提があります。

私は、ちょうどこの前の参議院選挙のときに、石破総理が長崎を訪れたときでしょうか、私が聞いたのは、佐賀県からの納得を得ることはフリーゲージトレインを断念した国の責任、改めて国の責任だということには言及いただいたということと、併せて佐賀県がメリットがないと考えるのは当然とまで言っていたと聞いております。この報道はあまりなされていないようですけれども、いわゆるポイントはちゃんとしているのかなと。佐賀県は在来線を通るのであればあまりほかに影響がないし、負担もほぼないので、在来線が通るだけですから。ということでの合意だったので、改めて新線を造るということになると全て佐賀県の領域ということになるので、我々からすると与党 PT というところに呼ばれたりしましたが、フル規格新幹線については手も挙げていない状態だということを改めて申し上げておきたいと思いますし、だから我々も、報道の皆さん方にも「未共用」とか「未〇〇」と言ってほしくないということを散々申し上げてきたところなんです。

だから、佐賀県は合意したことについては守りたいとずっと思っていたし、山口県政になっても、これまでの知事が決めたことも守っていかなければいけない、それは佐賀県は信用を大事にしている県だからとずっと申し上げてきたわけなんです。

今回、北陸についてはルートも全部決まっていたんだけど、それでもルートの問題からして、こうやって決まっていたことにもかかわらず、またこうやって問題が起きるわ

けです。だから、私は佐賀県としては誠実だと思うんです。その前にちゃんと決めたことを守る。だから、いいかげんな決め方はしたくないわけであります。そのところをぜひ分かっていたいただきたいと思うので、それでもなかなか交渉というか、決まったとおりなかなか進まない北陸の問題というものも含めて、これは何なんだろうね。新幹線の課題って、やはり受益と負担の問題もリンクを必ずしもしていないとか、国自体、特に我々のところからすれば、発注していたフリーゲージトレインが届かなかったという、国が断念したことによってという、もう一つ大きな要素が加わっているわけですから、私はそういう状況であることをみんながわかった上で。普通考えれば、そこ何で通っていないのと、何も分かっていない人がそうやって思うに決まっているんです、世の中の人って。だけど、やっぱり物事というのは経緯があるわけで、短絡的に考えてはいけないと思うんです。なので、かといって、じゃ、佐賀県は別に発注していないから、フル規格のものについて一切耳を貸さないなんて言っているわけじゃなくて、ずっと「幅広い協議」とか、それから、長崎県や JR と話し合いはいいよと、むしろしていきましょうというところで門戸を開いてきたわけなんです。なので、ただ「幅広い協議」にしても、三者協議にしても、なかなか予定が合わないねということでこうなってきたんだけど、今回はちょっと時間が短いんですけども、なかなか JR さんと長崎県の都合が合わなくてあまり時間は取れないんですけども、この北陸新幹線を題材に、三者で今回は一旦時間がつくれるということで、8月19日に佐賀県庁で三者でお会いするという。そして、お会いした後に、また報道の皆さん方にそれぞれ意見を述べるという機会を設けることにしたわけです。

○佐賀新聞

先ほど幹事社からの質問の中で新幹線の話が出ていましたけど、それに関連して、在来線特急の本数が今後、開業3年間のところで一応14本ということがあったんですけども、その点に関して今後 JR に求めることは、そういう三者協議の場でも議題になっていくのかとか、そういうところを知りたいんですけど。

○知事

そうですね。今回三者の議題に当たるかどうかは別として、古宮さんには話をしたいと思います。やはり鹿島、太良の影の部分というのは、ずっとこれは残っているわけで、本数が激減しているということに関して、これは JR 九州は新幹線は予定どおり通ったんだけど、武雄から西ですね。なんだけれども、その部分、やはり影の部分が明確に出ているということについては、これは JR 九州としてもしっかりと考慮して本数についても対応していただきたいと思っております。

○佐賀新聞

最終的に何本にしてとか、そこら辺のラインはまだですか。

○知事

少なくとも現行維持をしてほしいと思っているんです。フリーゲージトレインが遅れるというときに出した 6 者合意というのがあって、ただ、あれはフリーゲージができることを前提として、それで 3 年間だけという話でもあったし。それを考えてみたら、もともとあの 6 者合意のときに、江北の駅から武雄温泉駅までの間は順次複線化すると書いてあるんですよ。その約束も反故(ほご)にされているので、本当にいかななものかと私は思います。

なので、そういったどんどん短期的な視点で前に進めばいいんだという考え方ではなくて、もっと人の気持ちも考えながら、そういう地域のことも考えながら、みんなでやっていかないと、やはりその先に行くことに対して極めて不信感とか、不安になると私は思っています。

令和7年7月15日 知事定例記者会見[抜粋]

○NHK

もう一点なんですが、新幹線の件で、先の定例県議会の中で知事から地元 3 者のトップ協議について、北陸新幹線の大阪延伸の問題を議論の切り口にしてはどうかということで話があったんですが、その後の今の協議の進捗と申しますか。

○知事

私は「幅広い協議」にしても、3 者協議にしても、いつでもどうぞということなんですけれども、がむしゃらに佐賀県から強く我々がスケジュール管理してやる話ではないなと思うんですけれども、ただ、特に、北陸を題材に話し合ってみるのは有意義じゃないでしょうかという話、これは私のほうからさせていただいたので、日程調整をやっているんですけれども、8 月にも 2 案ぐらい出したけど、駄目と言われたと言っていましたから、なかなか 3 者がそろうのは難しいのかなと思ったりもしていますけれども、それでも我々は常に門戸は開いておりますし、協議すること自体は意義があると思うので、また折を見て声をかけてみるというか、あちらから声をかけていただいてもいいんですけれどもねと思います。